事業環境変化への迅速な対応を可能とするグローバルオペレーション基盤の確立

廣田真紀*　三ツ井里奈*
田中賢一**
植松潤一*

Global Operation for Prompt Action to the Fluctuation of Market Environment

Maki Hirota, Kenichi Tanaka, Junichi Uematsu, Rina Mitsui

要　旨

三菱電機㈱ リビング・デジタルメディア事業本部では，空調機事業，映像情報機器事業，電材住設事業などを持っており，各事業部の海外売上高は右肩上がりに伸長を続けている。その一方で，グローバルオペレーションを支援するためのIT基盤が整備されておらず，マニュアル処理が点在しているのが実態である。

今後，海外事業の更なる拡大を実現するためには，販売変動と連動した生産・出荷調整を実施可能とするグローバルオペレーション環境を整備し，グローバルでの需給調整業務を確立することが急務となっている。

そこで，需給調整の拠点間連携業務で次の３点に着目し，在庫配置の適正化及び輸送リードタイム短縮を実現する業務と仕組みを確立した。

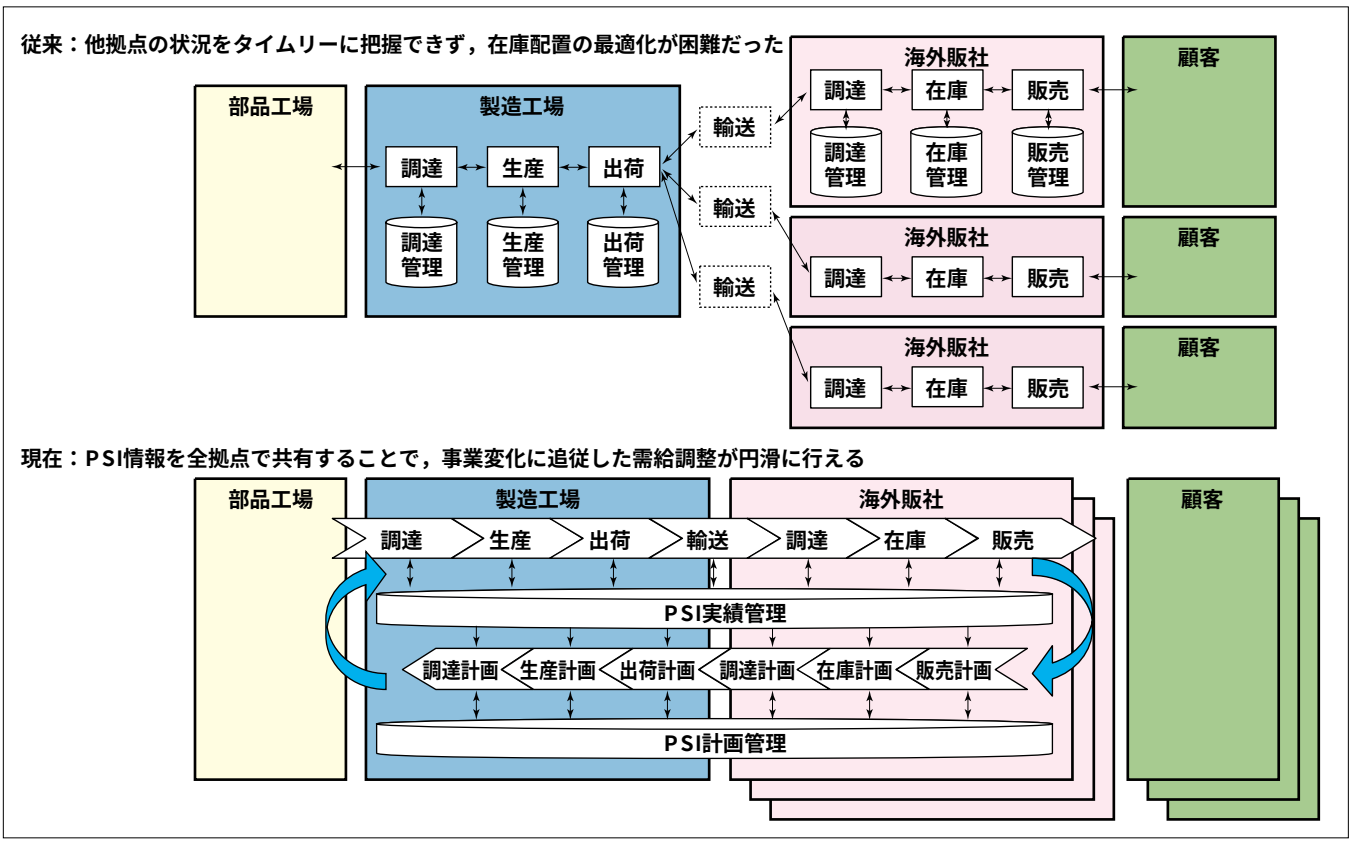
(1)　販社フォーキャスト作成業務標準化と情報精度向上

(2)　PSIローリング業務(注1)の標準化と拠点間連結管理

(3)　輸出入業務標準化と関連書類電子化による業務効率化

現在は空調機事業で需給調整業務の定着化が進み，グローバルレベルでの安定した在庫運営を実現している。今後は，これらを映像情報機器事業，電材住設事業へと展開していき，海外事業拡大に寄与したいと考えている。

（注１）　PSIとは，調達(Procurement)，販売(Sales)，在庫(Inventory)の三位一体を表す略語であり，PSIローリング業務とは，前月までのPSI実績状況と当月以降の販売フォーキャストに基づいて調達計画を策定する業務である。



製販間での情報共有によるスピーディーな需給調整

需給調整業務確立以前は，海外拠点の状況がタイムリーに把握できず，迅速な計画見直し，適正な在庫配置のためのコントロールが困難であった。各拠点の実績情報を製販間で共有できる基盤を整備することで，事業変化に迅速に対応した計画の見直しが可能となり，さらに計画情報も含めた総合的なPSI管理によってスピーディーな需給調整業務が確立され，在庫配置適正化，輸送リードタイム短縮などの効果が期待できる。

*情報システム技術センター　**空調冷熱システム事業部